

長浜市子ども読書活動推進計画（第4次）（案）パブリックコメント結果

■意見募集期間 令和5年12月22日から令和6年1月20日まで

■意見提出者 4名

■提出意見数 17件

■意見と意見に対する市の考え方

No.	記載頁	意見	意見に対する市の考え方
1	6	P6では小学4年生から中学3年生での不読率の高さについて書いてありますが、本に親しむ子どもを育てるのも家庭だけでは限界があります。やはり、きめ細かな読書指導を先生とともに担う学校司書の必要性が重視されるべきです。毎日勤務している学校司書なら先生からの相談も受けやすいですし、何より児童・生徒との関係も強くなるでしょう。ひとりひとりの児童・生徒に合った本の提供ができるのは、子どもをよく知る大人です。そして、本の専門家です。各学校に毎日学校司書がいることの重要性は、本を読む子供を増やすことにも関係してきます。	学童期における読書の重要性はご意見にあるとおりです。さらに充実した読書環境を整えるように取組を進めてまいります。
2	11	P11では、重点目標3として「子どもと本をつなぐ大人への情報発信と啓発を強化します。」とありますが、これは前々から足りないと思っています。ブックスタートの場はもちろん、乳幼児のまわりの大人に対して日本小児科医会から提言されている「スマホに子守をさせないで」という啓発をしっかりと浸透させるべきだと考えるからです。幼いうちからデジタルメディアに触れることへの危険性は2004年から小児科医会から発信されています。ですが現状はその頃より深刻です。光を発するデジタル機器よりも紙の本で親子のコミュニケーションをとることのメリットを、特に乳幼児健診では真剣に訴えていくべきです。乳幼児の頃からスマートフォンをおもちゃ代わりにしている子どもには、紙の本は魅力的には映らない可能性も大いにあるからです。親さえ紙の本を手にしらないのでは、子どもも手にすることは稀です。乳幼児健診の次は園や学校がデジタル機器との付き合い方を大人に「指導」する番ですが、その準備はできているでしょうか。	紙媒体での絵本の読み聞かせの重要性については、ご意見にあるとおりです。ブックスタート等、様々な機会を捉えて、大人への情報発信と啓発を強化してまいります。
3	16	・P16 ボランティアによる子どもの読書活動の推進【課題】 いくつかの学校で、募集しても図書ボランティアがなかなか集まらないという話を聞いたことがあります。十分な人数のボランティアさんが市内では活動されているのでしょうか？地域によって偏りがあるのでしたら、それは課題としてあげてはいかがですか？ 他市では、ボランティア活動のガイドラインまたはマニュアルのようなものがあるところもあります。学校で見聞きしたことを外部で話さない、ということはボランティア活動をする上で必ず守るべきことですが、それは周知されていますか？長浜市でもそのような指針があれば、より活動や募集が円滑に進むと思います。指針の作成をぜひ今後の施策として検討してください。	市内では図書館をはじめ、園や学校でたくさんのボランティアの方にご支援・ご協力をいただいております。地域性を考慮しながら、いただいたご意見を参考に、ボランティアの活動が充実するような検討を進めてまいります。
4	19	P19では、各学校で朝の読書を行っていることになっていますが、以前行っていた学校が感染症対策の事務手続きを理由に復活させていない例が実際にあります。部活動などで忙しい中学生は、朝の読書でしか本を読まない生徒もいます。その肝心の朝の読書が行われていなければ、全く読書をしない生徒がいても不思議ではありません。市立図書館から提供されている「おはなしのたからばこ」が教室にあっても、それが活用されなければ宝の持ち腐れです。	朝の読書の時間は、子どもが本とふれあう重要な機会であるということをご意見のとおりですが、朝の時間の活用については、各学校が現状や課題に合わせて取組を行っています。市としても、各学校へ読書の重要性を伝え、各校の実情に合わせて可能な範囲で朝の読書の推進に努めてまいります。

5	4・19	<p>P4およびP19で、「市内すべての小学校・中学校・義務教育学校には学校図書館の職務に従事する職員が配置され、学校における活発な読書活動につながっています。」とありますが、これは正確な記述ではありません。今年度は配置されていない学校があったはずで、しかも「配置されている」のは数の上の話で、実際にはどの学校の学校司書も複数校を兼務しているため毎日勤務しているわけではありませんね。</p> <p>一週間のうち一日しか人がいない場合と月曜から金曜まで連続して勤務しているのでは、読書活動はもとより授業の支援にも大きな違いがあることは間違いありません。ひとつの学校に司書が一人、を県立高校のように実現していただきたいと思います。特に、小学校では図書館教育が重要です。子どものうちに培った図書館教育は大人になっても有効だからです。図書館教育には情報の扱い方、情報の入手の仕方を含みます。図書館教育は「情報教育」でもあるからです。子どもに端末を渡しても、その端末をつかって何ができるのかは情報教育次第です。子どもの健全な成長に、現代では情報教育が欠かせません。</p>	<p>令和5年度も、市内すべての小学校・中学校・義務教育学校に学校司書を配置しております。今後も、全ての学校に配置できるよう努めてまいります。情報教育の重要性はご意見にあるとおりです。</p>
6	19	<p>・P19 (2)学校【現状】</p> <p>「市内すべての小学校…に学校司書を配置し」とあるが、すべての学校に司書を配置し続けるためには、万一欠員が出た場合はどう対応するのでしょうか。現在勤務している学校司書が現任校の勤務を減らして兼務すると、先生方や子どもたちにしわ寄せが行きます。</p> <p>P20⑤にある「標準的な支援」をうたうのであれば、他の学校が負担を負わない補充の工夫が必要かと思えます。</p>	<p>基本方針については、今後の大きな道筋を示しており、具体的な施策内容については記載していませんが、いただいたご意見は本計画施行後に参考にさせていただき、欠員が出たときの補充方法の工夫について検討してまいります。</p>
7	19	<p>・P19 (2)学校【課題】</p> <p>資料の積極的な入れ替え・不要になった図書の有効活用について</p> <p>→まだ使えるものを不要としているような認識を生じさせないでしょうか。「学校図書館の資料としては価値が乏しくなったもののうち、まだ活用の可能性のあるもの」等の文言に変えられないか。</p> <p>現状として、図書購入の予算が少なくなかなか積極的に入れ替えができていないと言えないため、不要になった図書で有効活用できるものはそれほど多くない。（蔵書の入れ替えをどのような基準で行っているか問い合わせがあった場合、どう回答しますか。）</p>	<p>「不要になった図書」とは課題の1点目をふまえたものですが、ご指摘いただいたように、「◎学校図書館の資料としては価値が乏しくなったもののうち、まだ活用の可能性のあるものを有効活用するしくみをつくる必要があります。」に修正させていただきます。蔵書の入れ替えは、各学校図書館の実情に合わせて行っています。</p>
8	20	<p>★②タブレットを活用した読書環境の整備検討</p> <p>時代の流れがどのようなものになっていこうとも、文字言語で意思疎通することには変わりはないのでこの整備検討がどのようになされるかは、とても気になっています。世界 日本 滋賀の最先端をいく検討がなされることを応援いたします。</p> <p>（本当は紙の本第一主義の自分なのでここに★つけられるなら⑥にも★つけていただきたいです）</p>	<p>重要施策に関しては、p11の重点目標に即したものを★で表記しています。⑥の施策に関しても、取組を推進してまいります。</p>

9・10	20	<p>・P20 (2)学校【今後の施策】</p> <p>(1)④司書教諭の配置について 配置されていても、発令・授業数減免等がなされていなければ、司書教諭としての役割を十分に担うのは難しいです。現在司書教諭の任に就いている方がどれだけその役割に時間を使えているか把握されていますか。今後どのような働きを期待して配置を要望しようとしていますか。</p> <p>(2)⑤配置換え重視より学校司書の資質・待遇向上に向け、④で表されているように、市財政などどこに要望なのかは不明ですが、要望を明記していただきたいです。④⑤については司書教諭重視が漂いますが、長浜市は「学校司書」が兼務でも全体の学校に配置されています。このことは大変誇らしく素晴らしいと考えます。校長・教職員・司書教諭・学校司書 これらの人々が、～つなごう 子どもと本 のぼそう けやきっ子～この目標に向かって、思いを一つに、現場と思いが繋がり、実践できるよう文言で表して頂きたいです。</p>	<p>司書教諭は、勤務校の子どもの読書活動推進の中心的な役割を担うことが期待されます。児童生徒数が減少し、11学級以下の学校が増えるなか、まずは配置されることが必要と考えます。また、司書教諭の授業時数や、読書活動の推進等に関わった時間等については、今後把握に努め、司書教諭の役割が果たせるよう努めてまいります。ご意見については参考にさせていただきます。</p>
11・12	20	<p>(1)⑤学校司書の定期的な配置換えについて 現在の学校司書の任用条件でできる標準的な支援とはどのようなものを想定していますか？学校司書の支援を全学校で標準的にするために必要なのは配置替えではなく、学校図書館の運営に対して学校司書が果たす役割に見合った十分な勤務時間と、きちんとした研修によるスキルアップではないかと考えます。</p> <p>(2)⑤すべての学校で共通して標準的な支援をおこなうため、学校司書の定期的な配置換えを進めます。 一なぜ定期的な配置換えが必要なのか、その理由を記してほしいです。 児童生徒への読書活動支援のためには、学校の蔵書の把握、教員との連携、児童生徒からの信頼が必要になりますが、それには短期的な勤務では難しいと思われます。学校司書の定期的な配置をすることがよりよい支援に結び付くと考えの根拠は何でしょうか。</p>	<p>学校司書の力量は、経験や知識を積み重ねることでより研鑽されます。経験年数が様々な学校司書の定期的な配置換えにより、市内全ての学校図書館の水準が同一に保たれると考えております。資質向上の研修等の取組に関しては、定期的に連絡協議会を実施していく予定です。ご意見については参考にさせていただきます。</p>
13	20	<p>⑦地域の人材を活用するための学校の受け入れ態勢について 学校図書館は子どものプライバシーを守ることや、配慮が必要な子どもと関わる機会が多い場でもあることから、地域の人材を活用するならば、どのように活動してもらうのか、市として全学校共通の指針が必要なのではないでしょうか。</p>	<p>地域の人材については、読書に限らず様々な場面で活躍いただいているところです。プライバシーの尊重や配慮が必要な子どもについても、各学校が地域性を考慮し、十分配慮して進めているところですので、原文のとおりとします。</p>

14・15	20	<p>(1)⑧講演会や通信の発行について 誰が主体で行うことを念頭においていますか。</p> <p>(2)★⑧保護者だけでなく地域の人々にもわかる通信の発行をお願いします。広報に図書館のコーナーはありますが「学校図書館」のページも作成されるなり、地域づくり協議会や学校運営協議会？の会報や広報に「学校図書館コーナー」を作られてはどうでしょう。</p> <p>子どもたちの日常に本がある生活は理想ですが、家庭環境によって、家族での図書館の利用が全くないということもあります。学校に学校図書館があり、毎日学校図書館にいける日常があるということは、まぎれもない事実です。このことを最大限に利活用すればよいと思います。地域の中には 図書館まで行けないご家庭もあるでしょう。（地域の人々も図書館まで行けない人がたくさんおられます）（なんなら学校図書館も地域に開放していただきたいぐらいです）意見がそれてすみません。市長 教育委員会 生涯学習課 が 今後の読書環境と読書人口 子どもたちの読書 いのち輝く未来に向かって の検討に力を入れられることを応援いたします。</p> <p>平成26年6月19日 参議院文教科学委員会「学校図書館法の一部を改正する法律案に対する付帯決議」の三に政府及び地方公共団体は、学校司書の職務が、継続的な勤務に基づく知識、経験の蓄積が求められるものであること等に鑑み、学校司書が継続的・安定的に職務に従事できる任用・勤務条件の整備に努めること。とあります。今後の学校司書待遇に関して長浜市の取り組みを期待しています。</p> <p>参考文献 ○学校図書館への招待 坂田仰 河内洋子 編 八千代出版 2017年 ○学び合い育ち合う学校図書館づくり 稲井達也 著 学事出版 2020年 ○学校図書館の出番です！ 肥田美代子 ポプラ社 2017年 ○蛾のおっさんと知る衝撃の学校図書館格差 山本みづほ 郵研社</p>	<p>本取組の主体は長浜市(長浜市教育委員会)です。</p> <p>学校だよりや児童生徒だより、ホームページ等で、新しく入った本や図書館について取り上げるなどして、地域の方へ情報提供をおこなっています。そのような活動が継続しておこなわれるよう、取組を進めてまいります。子どもたちの身近に本がある環境の重要性はご意見のとおりです。学校図書館がより活用されるよう取組を進めてまいります。</p>
16・17	21	<p>・P21(3)多様な背景をもつ子どもたちへの読書活動の推進【今後の施策】</p> <p>(1)① ②収集やリストの作成・利活用 資料を最も有効に活用できるのは、子どもといちばん近い学校現場・学校図書館だと思うので、収集した資料やリスト等の情報を学校図書館と共有し、多様な背景をもつ子どもへ提供できる機会を増やすのがよいと考えます。</p> <p>(2)②図書館はじめ関係施設に外国語資料を収集し、利活用に努めます。</p> <p>一図書館の次に学校図書館をいれてはどうでしょうか。</p> <p>公共図書館には多く外国語の図書がありますが、外国籍の子どもが借りに来ることは多くないと聞きました。外国籍の子どもたちにとって一番身近な学校図書館に母国語の図書を置くことが、彼らに必要な図書を届ける一番の近道です。市内の中学校では、ポルトガル語、スペイン語の図書を購入したところ子どもたちは喜んで読んでいるそうです。外国籍の子どもが在籍している学校では、その人数に応じて蔵書に外国語の図書を置くことを推進していく必要があると思います。</p>	<p>関係施設の中に園や学校を含んでおります。長浜市の外国にルーツのある子どもたちに読書の機会を平等に提供できるよう、関係部署と情報共有・連携して施策を展開していきたいと考えております。また、しょうがいのある子どもに対しても、長浜図書館の2階に「わかりやすくよみやすいこどもの本りんごの棚」を設置した際に各学校へ情報提供をおこない、周知をおこなっています。ご意見については参考にさせていただきます。</p>